

財務省行政事業レビュー

(公開プロセス対象事業)

日時：令和7年6月5日(木)
10:00 ~ 11:30

会場：財務省4階 第1特別会議室

財務省行政事業レビュー推進チーム事務局

財務省行政事業レビュー（公開プロセス）時間割

【令和7年6月5日（木）】

予 定 時 間	事 業 名
10 : 00 ~ 11 : 30	独立行政法人酒類総合研究所運営費交付金 独立行政法人酒類総合研究所施設整備費補助金

※ 時間は目安です。議論の状況等により予定の時間が短縮又は延長されることがあります。

一 目 次 一

ページ

独立行政法人酒類総合研究所運営費交付金

独立行政法人酒類総合研究所施設整備費補助金

概要資料	・・・・・・・・・・・・・・・・	1
レビューシート	・・・・・・・・・・・・・・・・	16
論 点	・・・・・・・・・・・・・・・・	54

独立行政法人酒類総合研究所の概要

(1) 設立

平成13年4月1日（明治37年に大蔵省醸造試験所として創設）

(2) 事務所

広島県東広島市

(3) 常勤役職員数（令和7年4月1日現在）

44名

(4) 目的

- 酒税の適正かつ公平な賦課の実現
- 酒類業の健全な発達を図り、あわせて酒類に対する国民の認識を高める

(5) 主な業務

酒税の適正かつ公平な賦課の実現及び酒類業の健全な発達のため、日本産酒類の輸出促進の政府方針等を踏まえ、①酒類業の振興のための取組、②酒税法、酒税の保全及び酒類業組合等に関する法律の適切な運用のための取組、③酒類に関するナショナルセンターとしての取組を行っている。

(6) 法人の類型

中期目標管理型法人

（第5期中期目標期間：令和3年4月1日～令和8年3月31日）

※ 中期目標管理型法人：公共上の事務等のうち、国が中期的な期間（3～5年）について定める業務運営に関する目標を達成するための計画に基づき行うことにより、国民の需要に的確に対応した多様で良質なサービスの提供を通じた公共の利益の増進を推進することを目的とする独立行政法人

酒類行政の基本的方向性 ～主に産業振興の観点から～ (概要)

【国税庁の使命】「酒税の適正かつ公平な賦課及び徴収」「酒類業の健全な発達」

酒類業界の現状

国内市場の状況

国内市場は、中長期的に縮小。他方で、清酒の出荷金額単価上昇がみられるなど、高付加価値化の動きも。

酒類輸出の状況

品目別にはウイスキーや清酒、国・地域別には中国やアメリカが輸出を牽引。

酒類業界の主な課題と国税庁の取組

酒類業の振興

コンプライアンスの確保

課題

商品の差別化・高付加価値化等

海外市場の開拓
(輸出促進)

技術の活用と
人材の確保等

中小企業支援

免許制度等の
適切な執行

公正な取引
環境の整備等

国税庁の取組

- ブランド化推進事業
- 酒類業構造転換支援事業(新商品・サービスの開発)
- 地理的表示(GI)制度の活用
- 表示基準の周知・見直し等

- **輸出拡大実行戦略の推進**
- 酒蔵ツーリズムの推進
- 日本産酒類輸出促進コンソーシアム
- 展示会出展、バイヤー招へい、商談会
- 国際交渉

- 酒類業構造転換支援事業(ICT技術の活用)
- **日本酒等のユネスコ無形文化遺産登録に向けた取組の推進**
- **酒類総合研究所による技術支援**

- **業界団体との連携**
- 中小企業向け施策の情報提供(関係省庁・機関、地方自治体等との連携)
- **技術相談等の技術支援**

- 酒類の製造及び販売業免許の審査等
- 酒類製造場・販売場の実態把握
- 酒類業組合の監督
- **適正な表示、品質・安全性の確保**

- 酒類の取引状況等実態調査
- 「酒類の公正な取引に関する基準」の見直し
- アルコール健康障害対策推進基本計画(第2期)の推進
- 20歳未満の者等の飲酒防止対策

「農林水産物・食品の輸出拡大実行戦略」と国税庁、酒類総合研究所での取組

農林水産物・食品の輸出拡大実行戦略

(農林水産物・食品の輸出拡大のための輸入国規制への対応等に関する関係閣僚会議決定)

- 政府の輸出額目標である2030年に5兆円を達成するため、輸出拡大については、以下3つの基本的考え方に基づいて政策を立案・実行する。

1. 日本の強みを最大限に発揮するための取組

2. マーケットインの発想で輸出にチャレンジする事業者を後押し

3. 省庁の垣根を超え政府一体として輸出の障害を克服

- 日本産酒類については、「清酒（日本酒）」、「ウイスキー」及び「本格焼酎・泡盛」の3品目を重点品目とされている。

国税庁における取組

- 海外市場の一層の開拓等による酒類業のさらなる発展のため、輸入規制の撤廃等の国際交渉のほか、以下の取組を実施。

「伝統的酒造り」に関する国内外の認知度を高める

・ 関係省庁等とも連携した、国内外での各種プロモーションの実施 等

認知度向上、販路拡大支援

・ ブランディングやインバウンドによる海外需要の開拓等、日本産酒類の海外展開に向けた取組等（酒類業振興支援事業費補助金）

・ 海外大規模展示会への出展支援や海外輸出コーディネーター等による商談会の開催
・ 国際イベント等でのPR 等

高付加価値化支援

・ 商品の差別化・高付加価値化のための技術支援 等

酒類総合研究所における取組

- 日本産酒類の輸出促進のため、国税庁の技術基盤として、中期目標において以下の取組を実施。

日本産酒類の競争力強化等

酒類製造の技術基盤の強化

酒類の品質及び安全性の確保

酒類業界の人材育成

アウトリーチ活動・その他国民サービスの充実

独立行政法人酒類総合研究所（酒類総研）の政策体系図

国税庁の任務

➤ 内国税の適正かつ公平な賦課及び徴収の実現

- ・ 酒税の適正かつ公平な賦課及び徴収

➤ 酒類業の健全な発達

酒類行政の基本的方向性を定め、適切な法執行の確保及び酒類業の振興の強化に取り組む。

- ・ 酒類製造者の技術力の強化を支援
- ・ 酒類の品質・安全性の確保
- ・ 酒類の適正な表示の確保

主な政府方針

➤ 食料・農業・農村基本計画（令和2年3月31日閣議決定）

➤ 農林水産物・食品の輸出拡大実行戦略 （令和2年12月15日農林水産業・地域の活力創造本部決定）

- ・ 農林水産物・食品の輸出促進

➤ 科学技術基本計画（平成28年1月22日閣議決定）

➤ 統合イノベーション戦略2020（令和2年7月17日閣議決定）

- ・ 食料・農林水産業について、科学技術の力を活用することにより、輸出拡大に向けた国際競争力を強化
- ・ Society 5.0の実現のための研究データ基盤整備

独立行政法人酒類総合研究所の中期目標

1 酒類業の振興のための取組

日本産酒類の競争力強化等

- ・ 新たな価値の創造に資する研究
- ・ 清酒の品質劣化防止に資する研究
- ・ 食品添加物の指定要請手続
- ・ 輸出酒類の分析・証明事務

等

酒類製造の技術基盤の強化

- ・ 各種醸造用微生物及び原料の特性の把握等の基盤的研究
- ・ 地域ブランド等の価値向上に資する研究
- ・ 酒類製造者等の取組を支援

等

酒類の品質及び安全性の確保

- ・ 酒類の品質及び安全性の確保に関する研究
- ・ 酒類に含まれる可能性のある有害物質の分析
- ・ 業界団体主催の品質評価会等の支援

等

酒類業界の人材育成

- ・ 醸造技術者育成のための酒類醸造講習及び鑑評会
- ・ 関係機関と協力し、海外の日本産酒類専門家を育成
- ・ 酒類に関する研究者の育成

等

2 酒税法等の適切な運用のための取組

酒類の適正課税及び適正表示の確保

- ・ 分析・鑑定業務及びその理論的裏付けとなる研究

等

3 酒類に関するナショナルセンターとしての取組

アウトリーチ活動・その他国民サービスの充実

- ・ 日本産酒類の魅力や特性に関する情報発信やアウトリーチ活動
- ・ 関係機関と連携したオープンサイエンスの推進

等

独立行政法人酒類総合研究所運営費交付金・ 独立行政法人酒類総合研究所施設整備費補助金の概要

○ 独立行政法人酒類総合研究所運営費交付金

(1) 事業概要

(独)酒類総合研究所において、日本産酒類の競争力強化等、酒類製造の技術基盤の強化、酒類の品質及び安全性の確保、酒類業界の人材確保、酒類の適正課税及び適正表示の確保等のため、質の高い研究等を実施し、成果の普及を図る。また、前段の取組の一環として、国税庁からの依頼があった分析・鑑定の実施、鑑評会の開催、酒類醸造講習の実施等に取り組む。さらに、公設試験研究機関、民間等との外部連携を積極的に推進するとともに、酒類に関する分かりやすい情報発信を行い、酒類に関するナショナルセンターとしての役割の強化に取り組む。

(2) 令和7年度当初予算額

9.6億円

○ 独立行政法人酒類総合研究所施設整備費補助金

(1) 事業概要

(独)酒類総合研究所が実施する業務を効率的かつ円滑に実施することを目的に、(独)酒類総合研究所の施設・設備の整備充実、老朽化対策等に要する経費に対して補助金を交付する(補助率:定額(10/10))。

(2) 施設整備費補助金による施設・設備の整備状況

《施設》

- ・ 製造棟、研究棟、管理棟の改修工事

《設備》

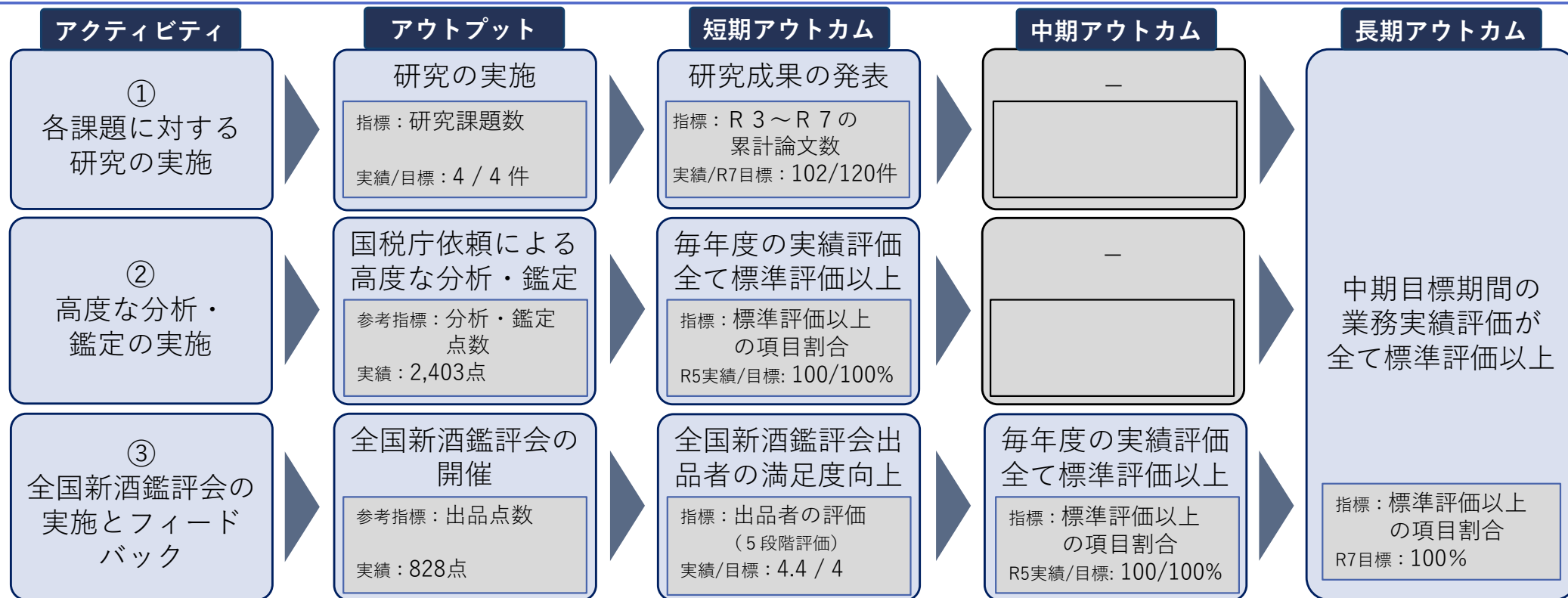
- ・ 空調設備、ボイラー等の更新

(3) 令和7年度当初予算額

なし



独立行政法人酒類総合研究所運営費交付金のアウトカムの設定について



●アウトカムの設定について

①「各課題に対する研究の実施」の短期アウトカム

研究成果が得られたテーマについては学術雑誌等で公開することから、累計論文数を短期アウトカムに設定。

②「高度な分析・鑑定の実施」の短期アウトカム

分析・鑑定数は、業務実績評価における主要な経年データとされており、活動指標が向上することで業務実績評価に反映されることから、主務大臣により示される毎年度の業務実績評価において全ての項目で標準評価以上の評価を受けることを短期アウトカムとして設定。

③「全国新酒鑑評会の実施とフィードバック」の短期・中期アウトカム

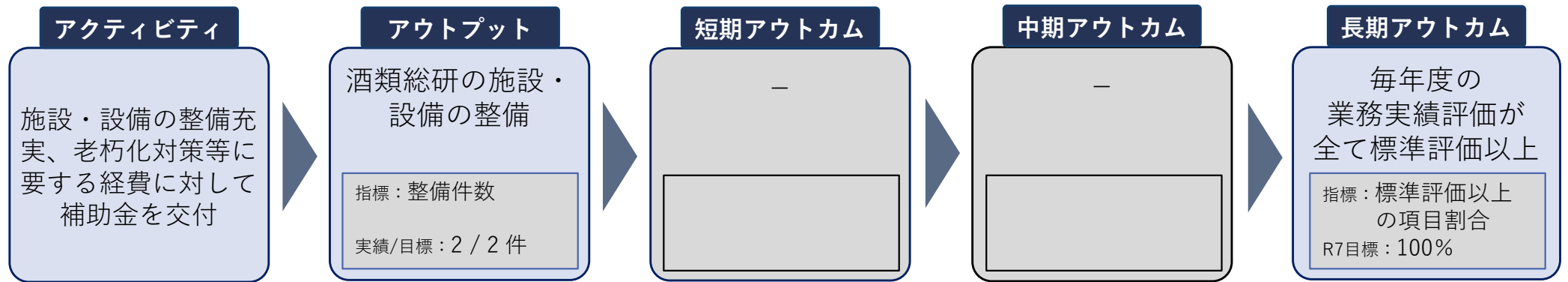
全国新酒鑑評会の出品酒について、結果公表後に出品者へ審査結果等のフィードバックを行うとともに、フィードバックに対する満足度を調査している。この満足度を指標とし、その指標向上を短期アウトカムとして設定。

この満足度の向上は、業務実績評価における評価の根拠の一つであるため、毎年度の業務実績評価の状況を中期アウトカムとして設定。

①～③共通の長期アウトカム

研究及び分析・鑑定の実施並びに全国新酒鑑評会の開催による各アウトプットは、主務大臣により中期目標期間全体（5年間）の評価として示されるものであることから、中期目標期間の業務実績評価において全ての項目で標準評価以上であることを長期アウトカムとして設定。

独立行政法人酒類総合研究所施設整備費補助金のアウトカムの設定について



●長期アウトカムの設定について

酒類総研の施設・設備の整備充実、老朽化対策等は、中期目標・中期計画に沿って実施する各種業務を確実に継続させるために不可欠であり、中期目標・中期計画の達成を下支えするものであることから、業務実績の評価結果において全ての項目で標準評価(B評価)以上の評価を受けることを長期アウトカムとして設定した。

※ 短期・中期アウトカムを設定していない理由

施設整備費補助金は、中期目標・中期計画に沿って実施する各種業務を確実に継続させるために交付されるものであり、施設整備費補助金の交付が、中期目標・中期計画の達成に直接結びつくため。

独立行政法人酒類総合研究所の取組事例

～日本産酒類の競争力強化等～

- (独) 酒類総合研究所では、第5期中期目標期間において、酒類業の振興のための取組のうち、日本産酒類の輸出促進に向けた取組について重点を置いて実施。
- 令和5年度は日本産蒸留酒の特徴となる成分に係る重要な知見が得られたこと、輸出酒類の分析・証明等の効率化を図り処理日数を短縮したこと等により、A評価(所期の目標を上回る)とした。

日本産酒類の競争力強化に資する研究

ブランド価値の向上により日本産酒類の競争力を強化するため、以下の研究を実施。

その他、麹菌、酵母等の醸造用微生物や、清酒原料米等の酒類原料の特性把握のための基盤的研究を実施。

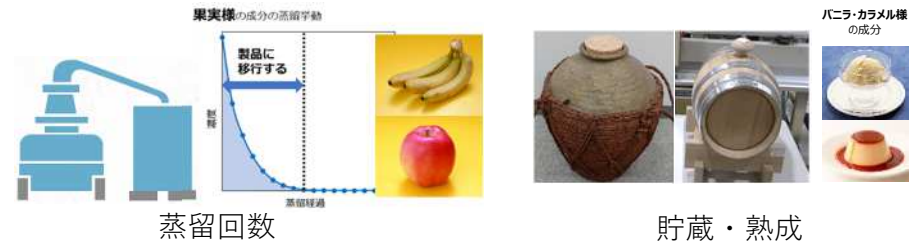
清酒の品質劣化の防止に資する研究



清酒は温度による影響を受けやすく、輸出時等に品質を維持して流通させることが難しい。

長期間の輸送時等に発生しやすい劣化臭の原因物質を生産しにくい酵母を開発し、実用化。

日本産蒸留酒の特性解明に関する研究



日本産酒類の蒸留酒の海外におけるブランド力向上のため、焼酎・泡盛等の品質に寄与する成分を探索。

蒸留回数、貯蔵・熟成等により特徴となる成分が異なり、異なる品質特徴となることが示唆。

輸出酒類の分析・証明等

台湾、EU等向け輸出ワインに関する証明書等や輸出先国が求める放射性物質の検査証明書を発行。

	達成目標	R3	R4	R5
対台湾輸出酒類の分析点数	-	398	347	348
対EU等輸出ワインの証明点数	-	103	59	110
輸出酒類の放射能分析点数	-	1,267	1,575	1,710
処理日数(台湾・EU等)	20業務日以内	10.8	10.6	9.5
処理日数(放射能分析)	2業務日以内	1.8	1.8	1.5

食品添加物の指定要請手続

日EU経済連携協定に基づき酒類等に使用する食品添加物の指定要請手続きを期限内に完了。



独立行政法人酒類総合研究所の研究、研究成果発信の例

○ 清酒の品質劣化の防止に資する研究の実施

老香（ひねか）の原因物質を解明

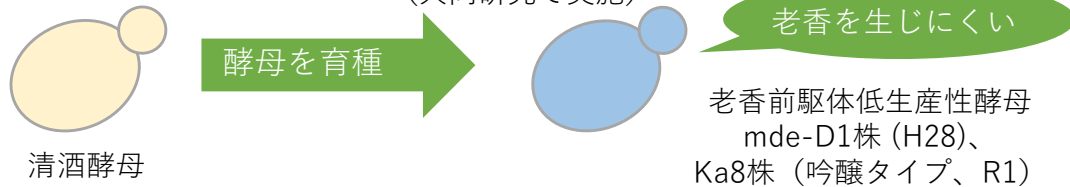
老香の主要成分がジメチルトリスルフィド（DMTS）であることを明らかに
(H18)

老香の原因物質の生成機構を解明

DMTSの前駆体およびその生成に関する酵母の遺伝子を明らかに
(H25)

老香の原因物質をつくりにくい清酒酵母を開発

DMTSの前駆体の生成に関する遺伝子が欠損した清酒酵母を育種
(共同研究で実施)



実地試験醸造により酵母の醸造特性を確認

清酒製造場で試験醸造を行い、酵母の醸造特性や使用上の注意点を検討

日本醸造協会から酵母を販売

mde-D1株 (R3)、Ka8株 (吟醸タイプ、R6) を頒布開始

高品質な清酒の品質保持に貢献

○ 日本産蒸留酒の特性解明に関する研究

本格焼酎・泡盛の香味特性表現の明確化



本格焼酎・泡盛フレーバーホイールの作成 (R2)

官能評価標準試薬の販売 (R6)

特徴的な香味と製造工程の関係性の検討



泡盛の複数回蒸留では果実様の香りが増加 (R3)
長期貯蔵焼酎の特徴としてバナラ香、カラメル香が寄与 (R5)
今後、各成分の生成機構や製造工程との関係性等について検討

日本産蒸留酒の特徴を解明

日本産酒類のブランド価値向上により、日本産酒類の輸出促進等に貢献

○ 研究成果は、以下の機会に酒類製造者等に対して発信し、参加者等に対して満足度調査を実施。

- ・ 酒類総合研究所講演会、酒類醸造講習での講演・講義
- ・ 各県等で実施している講習会への講師派遣

等

酒類総合研究所で実施した研究の実用化の事例

○ 清酒の品質劣化の防止に資する研究

【従来】 清酒の貯蔵劣化臭「老香（ひねか）」（たくあん様の香り）は、長期貯蔵及び高温により発生しやすい
⇒ 輸出などでリスク大

【現在】 新開発酵母を使用することで貯蔵劣化臭を抑えることができ、従来より高品質な清酒の輸出等が可能に
⇒ 商品の高付加価値化に貢献



○ 精米後の白米形状が清酒の品質に与える影響についての研究

球形白米【従来】

・玄米の長さ方向が主に削られる

長さ

幅

厚さ

精米歩合 50%

35%

白米のタンパク質を少なく、繊細な味わいの清酒とするには精米歩合を低くする必要（白米をより多く削る）

扁平白米

・玄米の厚さ方向が主に削られる

厚さ

精米歩合 50%

従来と同じ精米歩合でも白米のタンパク質がより少なく、繊細な味わいの清酒に

球形白米の精米歩合35%の清酒
扁平白米の精米歩合50%の清酒
→ 成分の類似性高く、従来ほど削らなくてもほぼ同様の品質に



扁平白米を使用した商品として、各製造者から販売
輸出向け商品にも活用

行政事業レビュー対象事業と国税庁実績評価との関係について

令和5事務年度国税庁実績評価書における、本事業を含む実績目標は次のとおり。

【実績目標】

実績目標（大）2：酒類業の健全な発達の促進

【施策】

実2-5：独立行政法人酒類総合研究所との連携

【定性的な測定指標】

実2-5-B-1：独立行政法人酒類総合研究所との連携による支援



【本事業と実績評価との関係】

独立行政法人酒類総合研究所は、酒類に関する高度な分析・鑑定や酒類及び酒類業に関する研究、調査及び情報提供等を行うことにより、酒税の適正かつ公平な賦課の実現に資するとともに、酒類業の健全な発達を図ることを目的としている。本事業は、同研究所が行う研究、調査及び情報提供等業務に必要な財源を交付するものであることから、「施策 実2-5 独立行政法人酒類総合研究所との連携」に寄与している。

令和5事務年度国税庁実績評価書においては、独立行政法人酒類総合研究所と連携し、高度な分析・鑑定、酒類の品質・安全性の確保及び酒類製造業者の技術力の維持強化の支援などに積極的に取り組んだことから、「s 目標達成」としている。

※ 令和6事務年度国税庁実績評価書は、令和7年10月末作成・公表予定

参 考 资 料

「伝統的酒造り」 ユネスコ登録関係

- 認知度向上
(伝統的酒造り関係)

2.3億円



「伝統的酒造り」に関する国内外の認知度を高める

- ・新聞広告
- ・主要駅デジタルサイネージ広告
- ・機内シートモニター広告 (予定)



- ・国内外での各種プロモーションイベントの開催

2025大阪・関西万博の機会も活用
日本酒造組合中央会、文化庁、外務省 (在外公館)、JETRO等とも連携

認知度向上・販路拡大支援

- 酒類業振興支援事業費補助金

7.0億円

6.0億円

- ①ブランディングやインバウンドによる海外需要の開拓等、日本産酒類の海外展開に向けた取組を支援
- ②商品の差別化や販売手法の多様化による国内外の新市場開拓等の取組を支援

[取組例]



訪日外国人向け酒蔵ツアー
リズムの取組



外国人を対象とした自社製品の試飲
プロモーション



原料等を見直したセカンド
ブランドづくりに挑戦

- 認知度向上 (日本産酒類の魅力を発信)

2.8億円

9.3億円

- ・国際イベント等でのPR
- ・国際的な酒類教育機関の講師等、発信力を持つ関係者の国内招聘



大規模展示会への出展支援
(令和6年7月、バンコク)

- 販路拡大 (輸出拡大に向けたマッチング支援)

- ・海外大規模展示会への出展支援や海外輸出コーディネーター等による商談会の開催等
- ・酒類製造者と輸出卸・商社とのマッチングや海外販路開拓を支援する日本産酒類輸出促進コンソーシアムの運用
- ・輸出先国の消費者の嗜好や各種規制、販路開拓手法等に係る海外市場調査・情報収集

- 高付加価値化支援
(日本産酒類のブランド価値向上を支援)



国税局鑑定官 (お酒の専門家) による技術相談への助言

- ・地理的表示(GI)のPR、活用促進
- ・商品の差別化・高付加価値化のための技術支援

- 酒類総研の機能強化
((独) 酒類総合研究所)

1.9億円

酒類の輸出に必要な証明書の発行体制、酒類の分析体制の強化等

- 清酒製造業近代化事業費等補助金 (日本酒造組合中央会)

厳しい経営環境も踏まえ、伝統的酒造りや万博の機会も活用し、経営の安定化を図る



日本酒フェアの開催



國酒の文化的な価値や魅力の発信につながる、国際空港國酒キャンペーン等の実施

1.9億円

6.2億円

原料米等高騰対策

- 信用保証事業 (日本酒造組合中央会)
短期での運転資金の円滑な調達に係る支援措置を行うため、日本酒造組合中央会に造成済の基金による信用保証事業を活用 (既存の基金残高を活用)

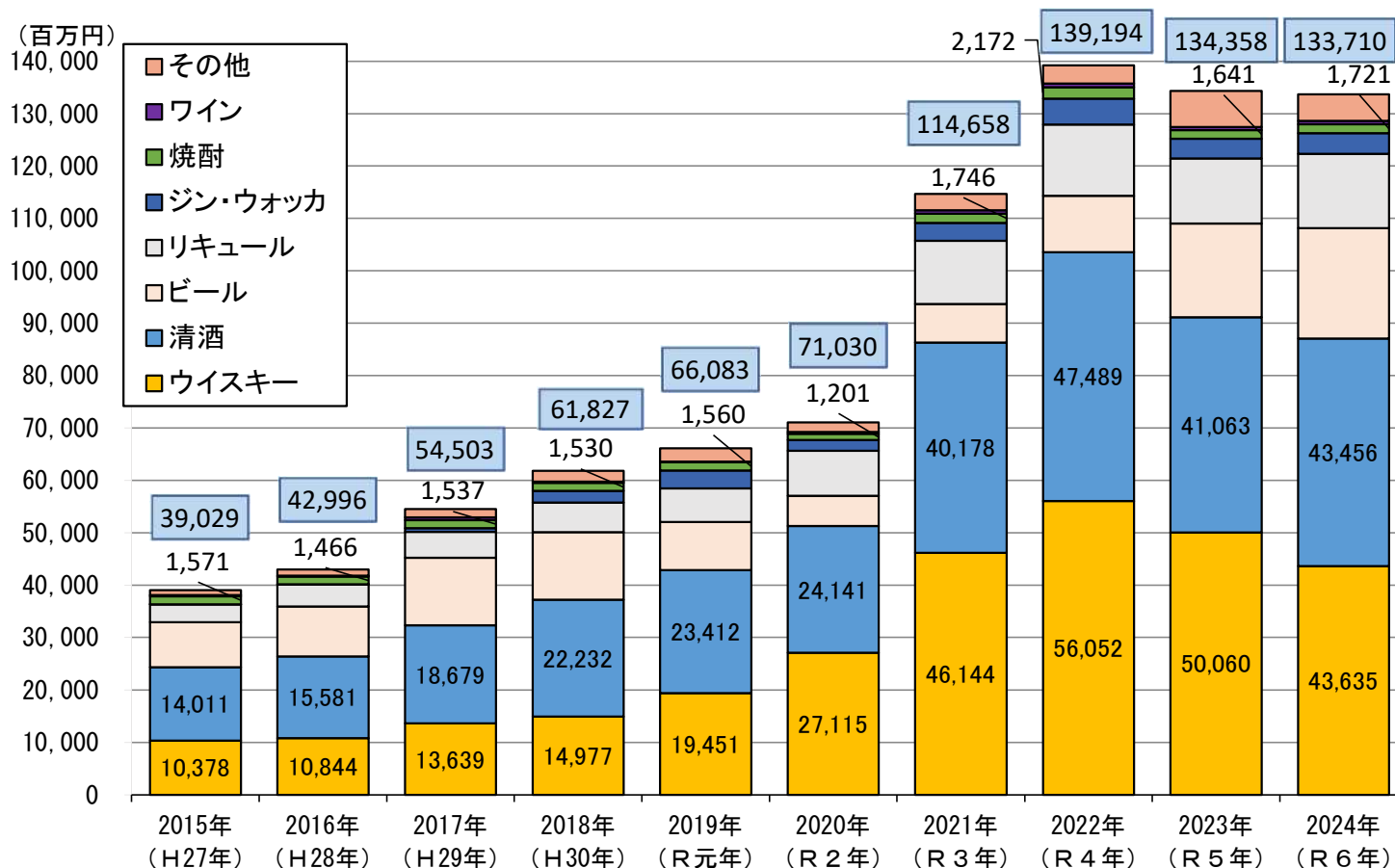
(注) この他に令和7年度予算において、(独) 酒類総合研究所に対する運営費交付金 (9.6億円) を措置 (ブランド価値向上等に資する研究、国内外への情報発信強化等)

最近の日本産酒類の輸出動向について

(2025年2月作成)

(2025年3月更新)

- 2024年の輸出金額は1,337億円(対前年比▲0.5%)となり、2023年と概ね同水準。下期は前年同期比で増加。
- 個別品目では、ウイスキーが減少(対前年比▲12.8%)した一方で、清酒(対前年比+5.8%)及び焼酎(対前年比+4.8%)は増加。ビール及びリキュールについては、過去最高額を更新。



○ 品目別輸出金額 (単位: 百万円)

品目	2023年	対前年増減率	2024年	対前年増減率
ウイスキー	50,060	▲10.7%	43,635	▲12.8%
清酒	41,063	▲13.5%	43,456	+5.8%
ビール	17,906	+66.6%	21,045	+17.5%
リキュール	12,433	▲8.6%	14,191	+14.1%
ジン・ウォッカ	3,758	▲24.4%	3,912	+4.1%
焼酎	1,641	▲24.4%	1,721	+4.8%
ワイン	567	▲17.4%	643	+13.4%
その他	6,930	+99.7%	5,109	▲26.3%
合計	134,358	▲3.5%	133,710	▲0.5%

○ 輸出金額上位10か国・地域 (単位: 百万円)

国・地域	2023年	対前年増減率	2024年	対前年増減率
アメリカ合衆国	23,719	▲11.4%	26,468	+11.6%
中華人民共和国	32,171	▲18.5%	24,471	▲23.9%
大韓民国	14,272	+156.0%	16,938	+18.7%
台湾	13,516	+12.4%	15,943	+18.0%
香港	9,444	▲18.5%	10,313	+9.2%
オランダ	6,710	+59.7%	7,780	+15.9%
シンガポール	7,693	▲6.6%	7,757	+0.8%
オーストラリア	6,583	+17.2%	4,371	▲33.6%
フランス	5,062	▲18.2%	3,712	▲26.7%
カナダ	1,722	▲31.3%	2,342	+36.0%
(参考)EU・英国	16,358	+4.7%	15,462	▲5.5%

○ 2024年の輸出金額の推移

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
輸出金額 (億円)	86.1	104.1	118.2	127.4	109.9	122.4	112.0	104.4	114.6	112.7	101.9	123.5	1,337.1
対前年比 (%)	+4.1	▲20.0	▲14.4	+23.5	▲16.0	+5.5	▲15.2	+2.6	+5.2	+7.6	+17.6	+13.6	▲0.5

出典: 財務省貿易統計

第5期中期目標期間における業務実績評価

- 独立行政法人通則法の規定に基づき、財務大臣は酒類総研の業務実績評価を行っている。
- 各項目ごとにS、A、B（標準）、C、Dの5段階で評価。
- 業務実績評価にあたっては、評価の客観性を確保し、その質を高めるため、研究、経営及び消費者問題に知見を有する外部有識者から意見聴取を行っている。

業務実績の評価項目		主な業務内容	R5評価
1. 国民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項			A
(1)	日本産酒類の競争力強化等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 清酒の品質劣化防止に資する研究 ・ 輸出酒類の分析・証明等 	A
(2)	酒類製造の技術基盤の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各種醸造用微生物及び原料の特性の把握等の基盤的研究 ・ 地域ブランド等の価値向上に資する研究 	A
(3)	酒類の品質及び安全性の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 酒類の品質及び安全性に関する研究 ・ 業界団体主催の品質評価会等の支援 	B
(4)	酒類業界の人材確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 醸造技術者育成のための酒類醸造講習及び鑑評会の実施 ・ 関係機関と協力し、海外の日本産酒類専門家を育成 	A
(5)	酒類の適正課税及び適正表示の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 分析鑑定業務及びその理論的裏付けとなる研究 	B
(6)	アウトリーチ活動・その他国民サービスの充実	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日本産酒類の魅力や特性に関する情報発信やアウトリーチ活動 	A
2. 業務運営の効率化に関する事項			B
3. 財務内容の改善に関する事項			B
4. その他の事項		<ul style="list-style-type: none"> ・ 施設及び設備に関する計画等 	B

独立行政法人酒類総合研究所運営費交付金

基本情報

組織情報	府省庁	財務省				
	事業所管課室	国税庁 国税庁 課税部 鑑定企画官				
	作成責任者	岩田知子 三浦隆				
	その他担当組織	国税庁 国税庁 課税部 酒税課				
基本情報	予算事業ID	001367	事業開始年度	2001	事業終了（予定）年度	終了予定なし
	事業年度	2025	事業区分	前年度事業		
政策・施策	政策所管	政策	施策			政策体系・評価書URL
	財務省	2 適正かつ公平な課税の実現	2 - 3 酒類業の健全な発達の促進			https://www.mof.go.jp/about_mof/policy_evaluation/nta/fy2024/analysis/2024ntabuns ekip.pdf
関連事業	--			主要経費	科学技術振興費	
概要・目的	事業の目的	独立行政法人酒類総合研究所（以下、「酒類総研」という。）が行う酒類に関する高度な分析及び鑑定並びに酒類及び酒類業に関する研究、調査及び情報提供等業務に必要な財源を交付することで、酒類総研の中期目標を達成することを目的とする。さらに、酒税の適正かつ公平な賦課の実現に資するとともに、酒類業の健全な発達を図り、あわせて酒類に対する国民の認識を高めることを目的とする。				
	現状・課題	酒類総研は、醸造技術の研究機関として、酒類に関する科学的知見を豊富に蓄積している。また、国税庁の技術的基盤として、酒税の適正かつ公平な賦課の実現に資するとともに、中小企業が多くを占める酒類業界において酒類業の健全な発達にも貢献しており、第5期中期目標期間（令和3年度～令和7年度）のうち令和3年度～令和5年度の業務実績評価の各項目において、概ね標準評価（B評価）以上の評価を受けている。2030年（令和12年）までに農林水産物・食品の輸出額を5兆円とするという目標や、科学技術の活用による国際競争力強化及びSociety 5.0の実現のための研究データ基盤整備を行うという政府方針のもと、日本産酒類の競争力強化等や、酒類製造の技術基盤の強化等につながる研究開発をさらに拡充していく必要があるとともに、引き続き、国税庁の技術的基盤としての役割を果たしていく。				
	事業の概要	酒類総研は、第5期中期目標期間（令和3年度～令和7年度）においては、日本産酒類の競争力強化等、酒類製造の技術基盤の強化、酒類の品質及び安全性の確保、酒類業界の人材確保、酒類の適正課税及び適正表示の確保等のため、質の高い研究等を実施し、成果の普及を図る。また、前段の取組の一環として、国税庁からの依頼があった分析・鑑定の実施、鑑評会の開催、酒類醸造講習の実施等に取り組む。さらに、公設試験研究機関、民間等との外部連携を積極的に推進するとともに、酒類に関する分かりやすい情報発信を行い、酒類に関するナショナルセンターとしての役割の強化に取り組む。				
	事業概要URL	--				

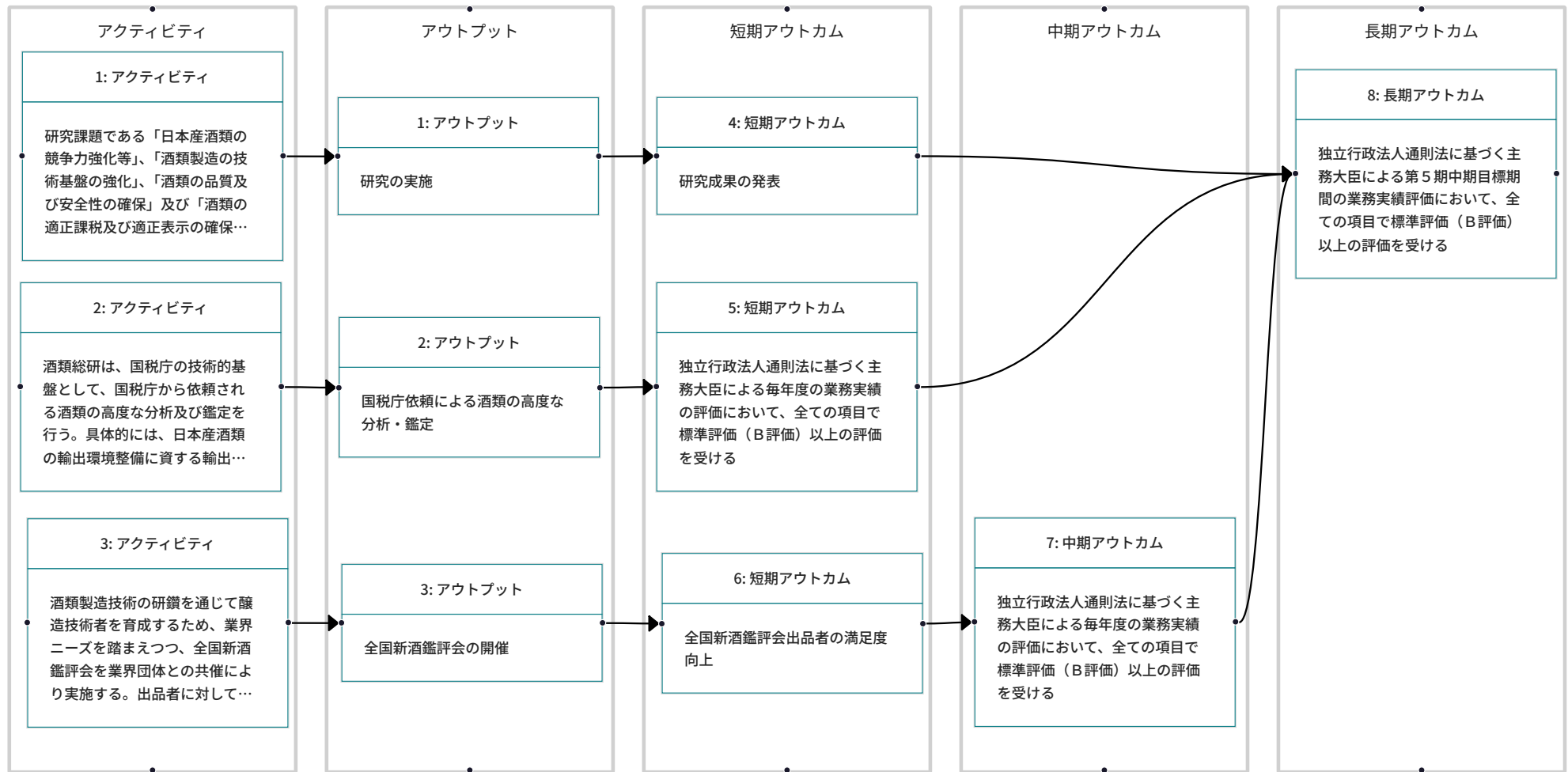
根拠法令	法令名	法令番号	条	項	号・号の細分
	独立行政法人通則法	平成十一年法律第百三号	第四十六条	--	--
	独立行政法人酒類総合研究所法	平成十一年法律第百六十四号	第三条	--	--
	独立行政法人酒類総合研究所法	平成十一年法律第百六十四号	第十二条	--	--
関係する計画・通知等	計画・通知名	計画・通知等URL			
	独立行政法人酒類総合研究所第5期中期目標	http://www.mof.go.jp/about_mof/constitution/agency/doppo/s20220830.pdf			
	独立行政法人酒類総合研究所第5期中期計画	https://www.nrib.go.jp/gui/pdf/TyukiKei05.pdf			
	新たなクールジャパン戦略（令和6年6月4日知的財産戦略本部決定）	https://www.kantei.go.jp/jp/singi/titeki2/chitekizaisan2024/pdf/siryou4.pdf			
	知的財産推進計画2024（令和6年6月4日知的財産戦略本部決定）	https://www.kantei.go.jp/jp/singi/titeki2/chitekizaisan2024/pdf/siryou2.pdf			
	経済財政運営と改革の基本方針2024（令和6年6月21日閣議決定）	https://www5.cao.go.jp/keizai-shimon/kaigi/cabinet/honebuto/2024/2024_basicpolicies_ja.pdf			
	総合的なTPP等関連政策大綱（令和2年12月8日TPP等総合対策本部決定）	https://www.cas.go.jp/jp/tpp/tppinfo/2020/pdf/20201208_tpp_taikoukaitei.pdf			
実施方法	交付				
補助率等	補助対象	補助率	補助上限等	補助率URL	
	--	--	--	--	
備考	--				

予算・執行

予算額執行額表 (単位：千円)			2022	2023	2024	2025	2026
	要求額		1,049,000	969,000	1,197,178	1,017,843	--
	当初予算		1,011,000	968,867	966,004	963,156	--
	補正予算		--	221,303	54,687	--	--
	前年度から繰越し		--	--	--	--	--
	予備費等		--	--	--	--	--
	計		1,011,000	1,190,170	1,020,691	963,156	--
	執行額		1,011,000	1,190,170	1,020,691	--	--
	執行率		100%	100%	100%	--	--


予算内訳表 (単位：千円)	会計区分	会計	勘定	要望額	備考		
	一般会計	一般会計	--		--	--	
		予算種別/歳出予算項目			備考	予算額	翌年度要求額
	当初予算	一般会計 / 財務省 / 国税庁 / 独立行政法人酒類総合研究所運営費 / 独立行政法人酒類総合研究所運営費交付金		--	963,156	--	

主な増減理由		その他特記事項	
--			--



アクティビティからの発現経路 1-1-4-8

アクティビティ	研究課題である「日本産酒類の競争力強化等」、「酒類製造の技術基盤の強化」、「酒類の品質及び安全性の確保」及び「酒類の適正課税及び適正表示の確保」に資する研究を実施する。研究成果は、学術雑誌等で公表する。				
アウトプット	活動目標	研究の実施	活動指標	研究課題数	
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--	実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	--	
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--	アウトカムを複数段階で設定できない理由	--	
活動・成果目標と実績		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
	当初見込み／目標値(件)	4	4	4	4
	活動実績／成果実績(件)	4	4	4	--
↓ 後続アウトカムへのつながり	酒類総研は、現状・課題を踏まえて策定した年度計画にしたがって研究課題に取り組んでいる。研究成果が得られたテーマについては学術雑誌等で公開することから、論文数が研究課題の進捗度を反映すると考え、短期アウトカムに設定した。				
短期アウトカム	成果目標	研究成果の発表	成果指標	中期目標期間内における累計論文数 (第5期：令和3年度～令和7年度)	
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--	実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	独立行政法人酒類総合研究所の令和3年度の業務実績に関する評価書（令和4年8月24日財務省（国税庁）） 独立行政法人酒類総合研究所の令和4年度の業務実績に関する評価書（令和5年8月28日財務省（国税庁）） 独立行政法人酒類総合研究所の令和5年度の業務実績に関する評価書（令和6年8月28日財務省（国税庁）） 独立行政法人酒類総合研究所の令和6年度の業務実績に関する評価書（令和7年●月●日財務省（国税庁））	
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--	アウトカムを複数段階で設定できない理由	--	
活動・成果目標と実績		2022年度	2023年度	2024年度	目標年度 2025年度
	当初見込み／目標値(報)	--	--	--	120
	活動実績／成果実績(報)	60	83	102	--
	達成率(%)	--	--	--	--

 後続アウトカムへのつながり	酒類総研は、現状・課題を踏まえて策定した年度計画にしたがって業務を実施し、中期目標期間終了時には中期目標期間全体（5年間）に係る期間実績評価を受けている。短期アウトカムの成果目標に定めている「研究成果の発表」は、中期目標期間全体に係る業務実績評価において、評価の根拠となる主要なデータであり、活動指標の実績が向上することで業務実績の評価結果は向上すると考えられるため、第5期中期目標期間の業務実績評価において全ての項目で標準評価（B評価）以上の評価を受けることを長期アウトカムとして設定した。
---	--

長期アウトカム	成果目標	独立行政法人通則法に基づく主務大臣による第5期中期目標期間の業務実績評価において、全ての項目で標準評価（B評価）以上の評価を受ける	成果指標	標準評価（B評価）以上の評価を受けた項目の割合
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--	実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	独立行政法人酒類総合研究所の第5期中期目標期間の業務実績に関する見込評価書（令和7年●月●日財務省（国税庁））
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--	アウトカムを複数段階で設定できない理由	--

活動・成果目標と実績		2024年度	最終目標年度 2025年度
	当初見込み／目標値(%)	--	100
	活動実績／成果実績(%)	--	--
	達成率(%)	--	--

アクティビティからの発現経路 2-2-5-8

アクティビティ	酒類総研は、国税庁の技術的基盤として、国税庁から依頼される酒類の高度な分析及び鑑定を行う。具体的には、日本産酒類の輸出環境整備に資する輸出酒類の放射性物質の分析、酒類に含まれる可能性がある有害物質の分析及び国税庁が定める酒類の表示の基準の適切な執行を支えるための分析等を実施する。				
アウトプット	活動目標	国税庁依頼による酒類の高度な分析・鑑定		活動指標	分析・鑑定点数
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--		実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	独立行政法人酒類総合研究所の令和3年度の業務実績に関する評価書（令和4年8月24日財務省（国税庁）） 独立行政法人酒類総合研究所の令和4年度の業務実績に関する評価書（令和5年8月28日財務省（国税庁）） 独立行政法人酒類総合研究所の令和5年度の業務実績に関する評価書（令和6年8月28日財務省（国税庁）） 独立行政法人酒類総合研究所の令和6年度の業務実績に関する評価書（令和7年●月●日財務省（国税庁））
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--		アウトカムを複数段階で設定できない理由	--
活動・成果目標と実績		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
	当初見込み／目標値(点)	1,809	1,809	1,809	1,809
	活動実績／成果実績(点)	2,458	2,521	2,403	--
↓ 後続アウトカムへのつながり	酒類総研は、現状・課題を踏まえて策定した年度計画にしたがって業務を実施し、毎年度、主務大臣による業務実績評価を受けている。活動目標に定めている「国税庁依頼による酒類の高度な分析・鑑定」は、業務実績評価における主要な経年データとされており、活動指標の実績が向上することで業務実績の評価結果は向上すると考えられるため、毎年度の業務実績評価において全ての項目で標準評価（B評価）以上の評価を受けることを短期アウトカムとして設定した。				
短期アウトカム	成果目標	独立行政法人通則法に基づく主務大臣による毎年度の業務実績の評価において、全ての項目で標準評価（B評価）以上の評価を受ける		成果指標	標準評価（B評価）以上の評価を受けた項目の割合
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--		実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	独立行政法人酒類総合研究所の令和3年度の業務実績に関する評価書（令和4年8月24日財務省（国税庁）） 独立行政法人酒類総合研究所の令和4年度の業務実績に関する評価書（令和5年8月28日財務省（国税庁）） 独立行政法人酒類総合研究所の令和5年度の業務実績に関する評価書（令和6年8月28日財務省（国税庁）） 独立行政法人酒類総合研究所の令和6年度の業務実績に関する評価書（令和7年●月●日財務省（国税庁））
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--		アウトカムを複数段階で設定できない理由	--

活動・成果目標 と実績		2022年度	2023年度	2024年度	目標年度 2025年度
	当初見込み／目標値(%)	100	100	100	100
	活動実績／成果実績(%)	100	100	--	--
	達成率(%)	100	100	--	--

↓
後続アウトカム
へのつながり

酒類総研は、毎年度、主務大臣による業務実績評価を受けることに加え、中期目標期間終了時には中期目標期間全体（5年間）に係る期間実績評価を受けている。毎年度の業務実績評価で標準評価以上の評価を受けることは、中期目標期間全体に係る期間実績評価においても標準評価（B評価）以上の評価を受けることにつながるため、第5期中期目標期間の業務実績評価において全ての項目で標準評価以上の評価を受けることを長期アウトカムとして設定した。

長期アウトカム	成果目標	独立行政法人通則法に基づく主務大臣による第5期中期目標期間の業務実績評価において、全ての項目で標準評価（B評価）以上の評価を受ける	成果指標	標準評価（B評価）以上の評価を受けた項目の割合
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--	実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	独立行政法人酒類総合研究所の第5期中期目標期間の業務実績に関する見込評価書（令和7年●月●日財務省（国税庁））
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--	アウトカムを複数段階で設定できない理由	--

活動・成果目標 と実績		2024年度	最終目標年度 2025年度
	当初見込み／目標値(%)	--	100
	活動実績／成果実績(%)	--	--
	達成率(%)	--	--

アクティビティからの発現経路 3-3-6-7-8

アクティビティ	酒類製造技術の研鑽を通じて醸造技術者を育成するため、業界ニーズを踏まえつつ、全国新酒鑑評会を業界団体との共催により実施する。出品者に対しては、各者の製造技術向上に資するべく、結果通知書により、出品酒に対するフィードバックを行う。				
アウトプット	活動目標	全国新酒鑑評会の開催	活動指標	出品点数	
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--	実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	独立行政法人酒類総合研究所の令和3年度の業務実績に関する評価書（令和4年8月24日財務省（国税庁）） 独立行政法人酒類総合研究所の令和4年度の業務実績に関する評価書（令和5年8月28日財務省（国税庁）） 独立行政法人酒類総合研究所の令和5年度の業務実績に関する評価書（令和6年8月28日財務省（国税庁）） 独立行政法人酒類総合研究所の令和6年度の業務実績に関する評価書（令和7年●月●日財務省（国税庁））	
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--	アウトカムを複数段階で設定できない理由	--	
活動・成果目標と実績		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
	当初見込み／目標値(点)	850	850	850	850
	活動実績／成果実績(点)	826	818	828	--
↓ 後続アウトカムへのつながり	酒類総研では、全国新酒鑑評会の出品酒について、香気成分やグルコース濃度等の分析を行った上、結果公表後に出品者へ分析値や審査結果のフィードバックを行うとともに、フィードバックに対する出品者からの満足度を調査している。全国新酒鑑評会を通じた醸造技術者の育成の取組は、フィードバックへの出品者からの満足度で測ることができると考えられるため、当該成果目標を短期アウトカムとして設定した。				
短期アウトカム	成果目標	全国新酒鑑評会出品者の満足度向上	成果指標	全国新酒鑑評会出品者にフィードバックした結果通知書への評価（5：大いに参考になる～1：全く参考にならない）	
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--	実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	独立行政法人酒類総合研究所の令和3年度の業務実績に関する評価書（令和4年8月24日財務省（国税庁）） 独立行政法人酒類総合研究所の令和4年度の業務実績に関する評価書（令和5年8月28日財務省（国税庁）） 独立行政法人酒類総合研究所の令和5年度の業務実績に関する評価書（令和6年8月28日財務省（国税庁）） 独立行政法人酒類総合研究所の令和6年度の業務実績に関する評価書（令和7年●月●日財務省（国税庁））	
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--	アウトカムを複数段階で設定できない理由	--	

活動・成果目標と実績		2022年度	2023年度	2024年度	目標年度 2025年度
	当初見込み／目標値(点)	4	4	4	4
	活動実績／成果実績(点)	4.4	4.4	4.4	--
	達成率(%)	110	110	110	--

↓
後続アウトカムへのつながり

酒類総研は、現状・課題を踏まえて策定した年度計画にしたがって業務を実施し、毎年度、主務大臣による業務実績評価を受けている。短期アウトカムの成果目標に定めている「全国新酒鑑評会出品者の満足度向上」は、業務実績評価における評価の根拠の一つであり、成果指標の実績が向上することで業務実績の評価結果は向上すると考えられるため、毎年度の業務実績評価において全ての項目で標準評価（B評価）以上の評価を受けることを中期アウトカムとして設定した。

中期アウトカム	成果目標	独立行政法人通則法に基づく主務大臣による毎年度の業務実績の評価において、全ての項目で標準評価（B評価）以上の評価を受ける	成果指標	標準評価（B評価）以上の評価を受けた項目の割合
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--	実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	独立行政法人酒類総合研究所の令和3年度の業務実績に関する評価書（令和4年8月24日財務省（国税庁）） 独立行政法人酒類総合研究所の令和4年度の業務実績に関する評価書（令和5年8月28日財務省（国税庁）） 独立行政法人酒類総合研究所の令和5年度の業務実績に関する評価書（令和6年8月28日財務省（国税庁）） 独立行政法人酒類総合研究所の令和6年度の業務実績に関する評価書（令和7年●月●日財務省（国税庁））
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--	アウトカムを複数段階で設定できない理由	--

活動・成果目標と実績		2022年度	2023年度	2024年度	目標年度 2025年度
	当初見込み／目標値(%)	100	100	100	100
	活動実績／成果実績(%)	100	100	--	--
	達成率(%)	100	100	--	--

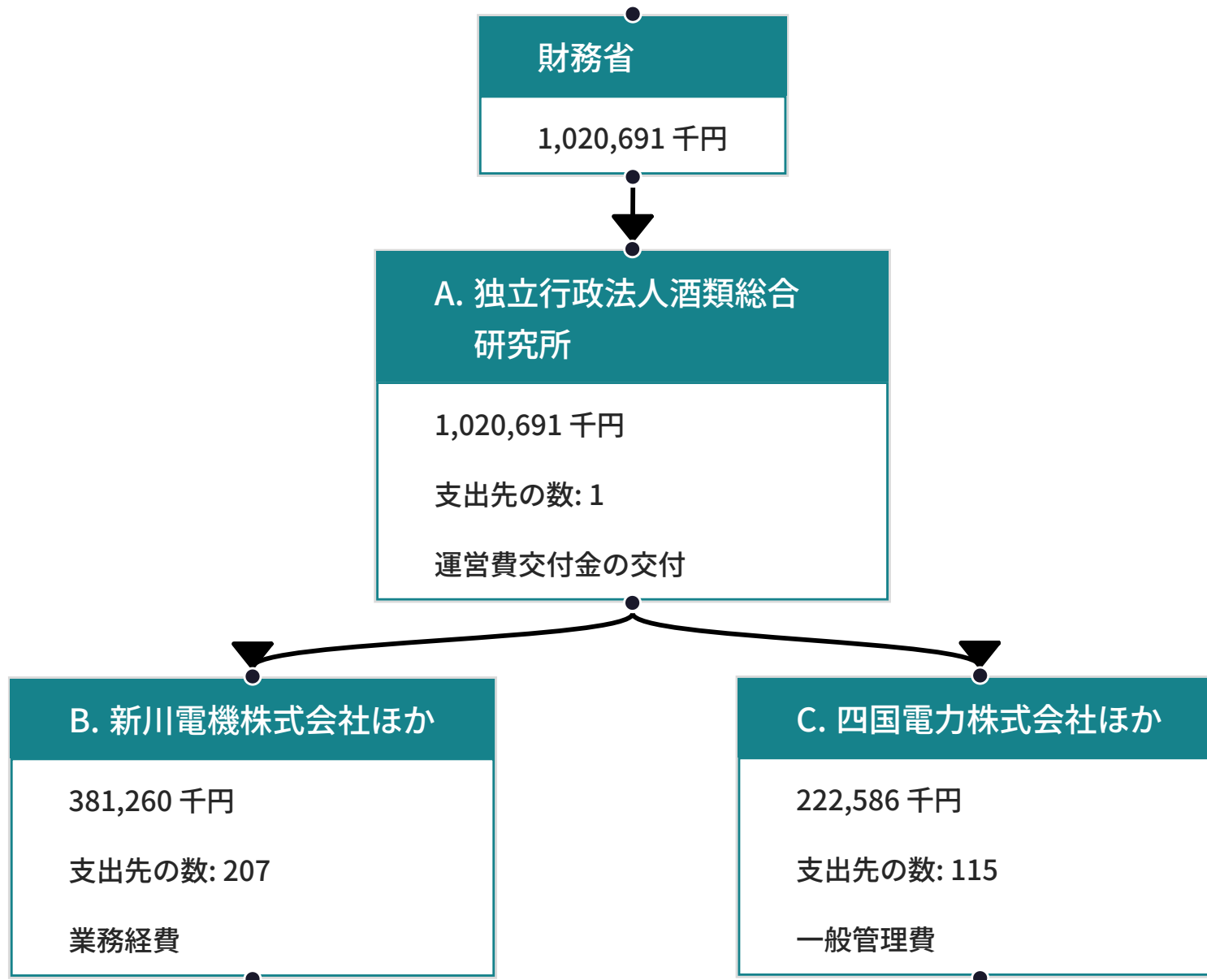
↓
後続アウトカムへのつながり

酒類総研は、毎年度、主務大臣による業務実績評価を受けることに加え、中期目標期間終了時には中期目標期間全体（5年間）に係る期間実績評価を受けている。毎年度の業務実績評価で標準評価以上の評価を受けることは、中期目標期間全体に係る期間実績評価においても標準評価（B評価）以上の評価を受けることにつながるため、第5期中期目標期間の業務実績評価において全ての項目で標準評価以上の評価を受けることを長期アウトカムとして設定した。

長期アウトカム	成果目標	独立行政法人通則法に基づく主務大臣による第5期中期目標期間の業務実績評価において、全ての項目で標準評価（B評価）以上の評価を受ける	成果指標	標準評価（B評価）以上の評価を受けた項目の割合
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--	実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	独立行政法人酒類総合研究所の第5期中期目標期間の業務実績に関する見込評価書（令和7年●月●日財務省（国税庁））
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--	アウトカムを複数段階で設定できない理由	--
活動・成果目標と実績			2024年度	最終目標年度 2025年度
	当初見込み／目標値(%)		--	100
	活動実績／成果実績(%)		--	--
	達成率(%)		--	--
事業に関連するKPIが定められている閣議決定等	名前	--		
	URL	--		
	該当箇所	--		

点検・評価

事業所管部局による点検・改善	点検結果	<p>酒類総研は、累次の政府方針において掲げられている日本産酒類の輸出促進のための基盤的研究、酒類の適正課税や適正表示の確保のための分析・鑑定業務、酒類業界の人材育成に資する酒類の鑑評会等を実施しており、国民や社会のニーズを反映した業務を行っている。</p> <p>令和6年度においては、以下の取組等を実施し、成果目標に見合った成果実績が得られていると考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研究成果の発表では5年間で120報の論文発表という目標に向け順調に進捗している。 ・国税庁依頼の分析・鑑定を着実に実施し、日本産酒類の輸出環境整備や酒類の表示の基準の適切な執行に貢献した。 ・全国新酒鑑評会を実施し、酒類製造技術の研鑽を図ったとともに、出品酒に対するフィードバックでは、目標値を超えた満足度を得た。 <p>また、コスト削減や効率化に向け、外部への委託や共同調達の実施に向けた検討を行うなどの工夫を行っている。</p> <p>上記の通り、事業は適正に実施されていると考えられる。今後とも引き続き効率的な運営に努めることが重要であると考える。</p>		
	目標年度における効果測定に関する評価	--		
	改善の方向性	<p>酒類総研は、第5期中期目標・中期計画（令和3年度～令和7年度）に基づいて事務・事業を行うとともに、民間に裨益するものについては民間に応分の負担を求めるなど、引き続き効率的な運営に努める。</p>		
外部有識者による点検	点検対象	--	最終実施年度	--
	対象の理由	--		
	所見	--		
	公開プロセス結果概要	--		
行政事業レビュー推進チームの所見に至る過程及び所見	所見	--	詳細	--
所見を踏まえた改善点／概算要求における反映状況	改善点・反映状況	--		
	反映額	会計	勘定	反映額(千円)
		--	--	--
詳細	--			
公開プロセス・秋の年次公開検証（秋のレビュー）における取りまとめ	--			
その他の指摘事項	--			



支出先上位者リスト (単位：千円)	支出先ブロック名	合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割	
	A 独立行政法人酒類総合研究所	1,020,691	1	運営費交付金の交付	
	支出先名	支出額	法人番号		
	独立行政法人酒類総合研究所	1,020,691	3240005003987		
	契約概要（契約名）/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策/落札率非公開の理由
	運営費 運営費交付金交付	1,020,691	--	--	--
	支出先ブロック名	合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割	
	B 新川電機株式会社ほか	381,260	207	業務経費	
	支出先名	支出額	法人番号		
	新川電機株式会社	31,778	4240001004583		
契約概要（契約名）/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策/落札率非公開の理由	
ガスクロマトグラフの調達 一般競争契約（最低価格）	8,767	1	93.8	--	
ガスクロマトグラフ分析装置の調達 一般競争契約（最低価格）	6,677	1	98.7	--	
Gerstel前処理装置付ガスクロマトグラフ質量分析装置の保守管理業務の委託 一般競争契約（最低価格）	2,695	1	95.1	--	
加熱脱着装置付GC/MSDの保守管理業務の委託 一般競争契約（最低価格）	2,614	1	96.5	--	
CE-LC/Q-TOF システム点検業務 一般競争契約（最低価格）	1,346	1	100	--	
ヘッドスペースサンプリ付ガスクロマトグラフ点検業務 一般競争契約（最低価格）	1,164	1	95.2	--	
化学発光硫黄検出器を備えたガスクロマトグラフ分析装置の保守点検業務 随意契約（少額）	726	2	--	--	

	その他 随意契約（少額）	7,789	2	--	--
支出先名		支出額	法人番号		
大塚器械株式会社		28,177	2240001001707		
契約概要（契約名）/契約方式等		支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策/落札率非公開の理由
飛行時間型質量分析装置の保守管理業務の委託 一般競争契約（最低価格）		5,417	1	97.2	--
液体クロマトグラフ質量分析装置の保守管理業務の委託 一般競争契約（最低価格）		4,609	1	96.7	--
高低温サーキュレーター 随意契約（少額）		1,430	2	--	--
その他 随意契約（少額）		16,721	2	--	--
支出先名		支出額	法人番号		
日新精器株式会社		21,144	6240001008517		
契約概要（契約名）/契約方式等		支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策/落札率非公開の理由
高周波誘導結合プラズマ発光分析装置の調達 一般競争契約（最低価格）		14,740	1	99.1	--
ガスクロマトグラフ質量分析計の保守管理業務の委託 一般競争契約（最低価格）		1,947	1	98.8	--
ガスクロマトグラフ質量分析計 定期点検 随意契約（少額）		882	2	--	--
その他 随意契約（少額）		3,575	2	--	--
支出先名		支出額	法人番号		
山本薬品株式会社		19,286	3240001012075		
契約概要（契約名）/契約方式等		支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策/落札率非公開の理由
乳酸菌全ゲノム解析 一般競争契約（最低価格）		1,704	2	72.1	--

超微量紫外可視分光光度計の調達 随意契約（少額）	1,529	2	--	--
RNA解析 随意契約（少額）	396	1	--	--
その他 随意契約（少額）	15,658	2	--	--
支出先名	支出額	法人番号		
株式会社ジェイ・サイエンス中国	15,592	2240001016481		
契約概要（契約名）/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策/落札率非公開の理由
イオンクロマトグラフ一式の調達及び保守 一般競争契約（最低価格）	11,297	2	99.4	--
ガンマ線核種分析装置の半導体検出器のJCSS校正作業及び 点検作業 国庫債務負担行為等	2,101	--	--	--
安定同位体比質量分析計修理業務 随意契約（少額）	905	2	--	--
その他 随意契約（少額）	1,289	2	--	--
支出先名	支出額	法人番号		
株式会社N T T データ関西	14,520	4120001054120		
契約概要（契約名）/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策/落札率非公開の理由
電子申請サービス提供業務 一般競争契約（最低価格）	14,520	1	88.1	--
支出先名	支出額	法人番号		
広島和光株式会社	14,349	1240001036571		
契約概要（契約名）/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策/落札率非公開の理由
二次元ガスクロマトグラフ飛行時間型質量分析装置システム の年1回定期点検業務 一般競争契約（最低価格）	1,270	1	100	--

96-wellサーマルサイクラー 随意契約（少額）	1,105	2	--	--
二次元ガスクロマトグラフ飛行時間型質量分析装置システム の検出器保守業務の委託 随意契約（少額）	660	2	--	--
その他 随意契約（少額）	11,314	2	--	--
支出先名	支出額	法人番号		
株式会社ミクセル	13,113	8240001020833		
契約概要（契約名）/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策/落札率非公開の理由
開放回路用チラー クールユニット 随意契約（少額）	1,098	2	--	--
ブドウの全ゲノム解析ライブラリー作成とシーケンシング 随意契約（少額）	962	2	--	--
ホールゲノム解析 随意契約（少額）	856	2	--	--
その他 随意契約（少額）	10,197	2	--	--
支出先名	支出額	法人番号		
株式会社N T T データ中国	12,276	1240001012853		
契約概要（契約名）/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策/落札率非公開の理由
ホームページ等の閲覧サービス用システムの提供及び運用支 援業務 国庫債務負担行為等	12,276	--	--	--
支出先名	支出額	法人番号		
小川精機株式会社	10,078	8240001001965		
契約概要（契約名）/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策/落札率非公開の理由
純水製造装置及び超純水製造装置の保守点検業務 一般競争契約（最低価格）	5,687	1	97.6	--

自動表面張力計の調達 一般競争契約（最低価格）	2,111	1	92.3	--
ドラフトチャンバー点検 随意契約（少額）	658	2	--	--
その他 随意契約（少額）	1,622	2	--	--
支出先名	支出額	法人番号		
その他	200,946	--		
契約概要（契約名）/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策/落札率非公開の理由
その他 その他(一般競争入札（最低価格）ほか)	200,946	--	--	--
支出先ブロック名	合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割	
C 四国電力株式会社ほか	222,586	115	一般管理費	
支出先名	支出額	法人番号		
四国電力株式会社	52,887	9470001001933		
契約概要（契約名）/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策/落札率非公開の理由
独立行政法人酒類総合研究所で使用する電気の調達 一般競争契約（最低価格）	52,887	3	85.5	--
支出先名	支出額	法人番号		
日東カストディアル・サービス株式会社	29,790	9011401005058		
契約概要（契約名）/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策/落札率非公開の理由
建物等の総合監視、日常点検及び保守業務の委託 一般競争契約（最低価格）	29,304	2	83.9	--
建築設備・防火設備 法定点検業務 随意契約（少額）	460	1	--	--
研究棟ボイラー及び圧力容器性能検査に伴う部品交換 随意契約（少額）	26	1	--	--
支出先名	支出額	法人番号		

株式会社ユー・エス・イー	21,364	6290001049738		
契約概要（契約名）/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策/落札率非公開の理由
情報システムの運用及び管理業務 国庫債務負担行為等	15,622	--	--	--
情報システムの運用及び管理業務 一般競争契約（最低価格）	5,742	1	86.1	--
支出先名	支出額	法人番号		
グリーンガス株式会社	11,962	3240001002919		
契約概要（契約名）/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策/落札率非公開の理由
液化石油ガス供給契約 国庫債務負担行為等	11,823	--	--	--
研究棟2階西側 ガス遮断弁更新工事 随意契約（少額）	139	1	--	--
支出先名	支出額	法人番号		
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	9,705	3011001027739		
契約概要（契約名）/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策/落札率非公開の理由
損害保険（火災）の付保 一般競争契約（最低価格）	9,705	1	80.1	--
支出先名	支出額	法人番号		
株式会社大迫本社	7,251	7240001001660		
契約概要（契約名）/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策/落札率非公開の理由
水道メーター取替工事 一般競争契約（最低価格）	2,420	3	56.7	--
研究棟外壁用タイル 国庫債務負担行為等	1,903	--	--	--
特別セミナー室空調修繕工事 随意契約（少額）	1,518	2	--	--

多目的ホール入口両開き鉄扉ドアガラス修繕 随意契約（少額）	283	1	--	--
消耗品 随意契約（少額）	150	1	--	--
消耗品 随意契約（少額）	112	1	--	--
製造棟1階、3階 レバー式水栓取替工事 随意契約（少額）	104	1	--	--
消耗品 随意契約（少額）	94	1	--	--
消耗品 随意契約（少額）	90	1	--	--
消耗品 随意契約（少額）	90	1	--	--
管理棟職員通用口 操作盤修理 随意契約（少額）	89	1	--	--
鏡山寮4階男子便所手洗排水金具取替 随意契約（少額）	83	1	--	--
消耗品 随意契約（少額）	64	1	--	--
消耗品 随意契約（少額）	60	1	--	--
その他 随意契約（少額）	192	1	--	--
支出先名	支出額	法人番号		
有限会社スマイルクリーン	4,830	7260002013488		
契約概要（契約名）/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策/落札率非公開の理由
独立行政法人酒類総合研究所の清掃業務 その他(共同調達)	4,830	--	--	--
支出先名	支出額	法人番号		
株式会社エネコム	4,061	2240001006697		

契約概要（契約名）/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
インターネット接続サービス 随意契約（少額）	1,423	2	--	--
標的型攻撃メール訓練 随意契約（少額）	803	2	--	--
プロキシサーバ保守 随意契約（少額）	671	2	--	--
その他 随意契約（少額）	1,163	2	--	--
支出先名	支出額	法人番号		
賀茂地方森林組合	3,863	6240005003654		
契約概要（契約名）/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
研究所東側法面樹木伐採作業 随意契約（少額）	2,241	2	--	--
敷地法面落葉樹伐採工事 随意契約（少額）	1,623	2	--	--
支出先名	支出額	法人番号		
広島県水道広域連合企業団	3,729	8000020349194		
契約概要（契約名）/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
上下水道供給業務 随意契約（その他）（随意契約）	3,729	1	100	--
支出先名	支出額	法人番号		
その他	73,144	--		
契約概要（契約名）/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
その他 その他（一般競争入札（最低価格）ほか）	73,144	--	--	--

費目・使途 (単位：千円)		支出先名	契約概要（契約名）	費目	使途	金額
	A	独立行政法人酒類総合研究所	運営費	交付金	運営費	1,020,691
	B	新川電機株式会社	ガスクロマトグラフの調達	業務経費	ガスクロマトグラフの調達	8,767
	C	四国電力株式会社	独立行政法人酒類総合研究所で使用する電気の調達	電気料金	庁舎及び寮等の電気料金	52,887

国庫債務負担行為等による契約先リスト
(単位：千円)

契約先名		契約額	法人番号		
C	四国電力株式会社	142,767	9470001001933		
	契約概要(契約名)/契約方式等	契約額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策/落札率非公開の理由
	独立行政法人酒類総合研究所で使用する電気の調達 一般競争契約(最低価格)	142,767	3	85.5	--
契約先名		契約額	法人番号		
B	エヌ・ティ・ティ・データ・カスタマサービス株式会社	127,908	6010601032609		
	契約概要(契約名)/契約方式等	契約額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策/落札率非公開の理由
	基幹LANシステム用機器の整備等(区分1 基幹LANシステム用機器) 一般競争契約(最低価格)	107,228	2	78.5	--
	基幹LANシステム用機器の整備等(区分2 文書管理機能) 一般競争契約(最低価格)	20,680	1	80	--
契約先名		契約額	法人番号		
C	日東カストディアル・サービス株式会社	58,608	9011401005058		
	契約概要(契約名)/契約方式等	契約額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策/落札率非公開の理由
	建物等の総合監視、日常点検及び保守業務の委託 一般競争契約(最低価格)	58,608	2	83.9	--
契約先名		契約額	法人番号		
B	株式会社NTTデータ関西	27,720	4120001054120		
	契約概要(契約名)/契約方式等	契約額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策/落札率非公開の理由
	独立行政法人酒類総合研究所 電子申請サービス提供業務 一般競争契約(最低価格)	27,720	1	88.1	--
契約先名		契約額	法人番号		
B	日新精器株式会社	14,740	6240001008517		
	契約概要(契約名)/契約方式等	契約額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策/落札率非公開の理由

	高周波誘導結合プラズマ発光分析装置の調達 一般競争契約（最低価格）	14,740	1	99.1	--
	契約先名	契約額	法人番号		
B	大塚器械株式会社	14,091	2240001001707		
	契約概要（契約名）/契約方式等	契約額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策/落札率非公開の理由
	原子吸光光度計の調達一式 一般競争契約（最低価格）	9,991	1	90.6	--
	振動式密度比重計の調達一式 一般競争契約（最低価格）	4,100	1	94.5	--
	契約先名	契約額	法人番号		
B	株式会社ジェイ・サイエンス中国	12,076	2240001016481		
	契約概要（契約名）/契約方式等	契約額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策/落札率非公開の理由
	イオンクロマトグラフィー式の調達及び保守 一般競争契約（最低価格）	12,076	2	99.4	--
	契約先名	契約額	法人番号		
C	株式会社ユー・エス・イー	11,484	6290001049738		
	契約概要（契約名）/契約方式等	契約額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策/落札率非公開の理由
	情報システムの運用及び管理業務 一般競争契約（最低価格）	11,484	1	86.1	--
	契約先名	契約額	法人番号		
C	中電技術コンサルタント株式会社	7,128	6240001006974		
	契約概要（契約名）/契約方式等	契約額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策/落札率非公開の理由
	情報セキュリティ支援業務の委託 随意契約（企画競争）	7,128	2	100	--
	契約先名	契約額	法人番号		
B	株式会社テーク・ワン	4,384	3120901024710		
	契約概要（契約名）/契約方式等	契約額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策/落札率非公開の理由

	ブランディング動画の作成等業務の委託 随意契約（企画競争）	4,384	7	99.6	--
--	----------------------------------	-------	---	------	----

その他備考

(注1) 業務経費の財源には、自己収入61,786千円が含まれている。

(注2) 人件費については記載を省略している。

(注3) 2024年度の計数等は速報値のため、今後変動する可能性がある。

独立行政法人酒類総合研究所施設整備費補助金

基本情報

組織情報	府省庁	財務省				
	事業所管課室	国税庁 国税庁 課税部 鑑定企画官				
	作成責任者	岩田知子 三浦隆				
	その他担当組織	国税庁 国税庁 課税部 酒税課				
基本情報	予算事業ID	002598	事業開始年度	2022	事業終了（予定）年度	終了予定なし
	事業年度	2025	事業区分	前年度事業		
政策・施策	政策所管	政策	施策		政策体系・評価書URL	
	財務省	2 適正かつ公平な課税の実現	2 - 3 酒類業の健全な発達の促進		https://www.mof.go.jp/about_mof/policy_evaluation/nta/fy2024/analysis/2024ntabuns ekip.pdf	
関連事業	--		主要経費	科学技術振興費		
概要・目的	事業の目的	独立行政法人酒類総合研究所（以下、「酒類総研」という。）の施設・設備の整備充実を図る。				
	現状・課題	酒類総研において、令和5年度には3件、令和6年度には2件の工事を完了し、令和5年度の業務実績評価の各項目においては、概ね標準評価（B評価）以上の評価を受けている。酒類総研が中期目標・中期計画に沿って実施する各種業務を継続させるために、引き続き酒類総研の施設・設備の整備充実、老朽化対策等を行う必要がある。				
	事業の概要	酒類総研の施設・設備の整備充実、老朽化対策等に要する経費に対して補助金を交付する（補助率：定額（10/10））。				
	事業概要URL	--				
根拠法令	法令名	法令番号	条	項	号・号の細分	
	独立行政法人通則法	平成十一年法律第百三号	第四十六条	--	--	
	独立行政法人酒類総合研究所法	平成十一年法律第百六十四号	第十二条	--	--	
関係する計画・通知等	計画・通知名	計画・通知等URL				
	独立行政法人酒類総合研究所中期目標	http://www.mof.go.jp/about_mof/constitution/agency/doppo/s20220830.pdf				
	独立行政法人酒類総合研究所中期計画	https://www.nrib.go.jp/gui/pdf/TyukiKei05.pdf				
実施方法	補助					

補助率等	補助対象	補助率	補助上限等	補助率URL
	酒類総研が行う独立行政法人酒類総合研究所法第12条の業務を実施するために必要な施設及び設備の整備に関する事業に係る経費のうち、国税庁長官が認める経費	10/10	予算の範囲内で長官が決定した額	--
備考	--			

予算・執行

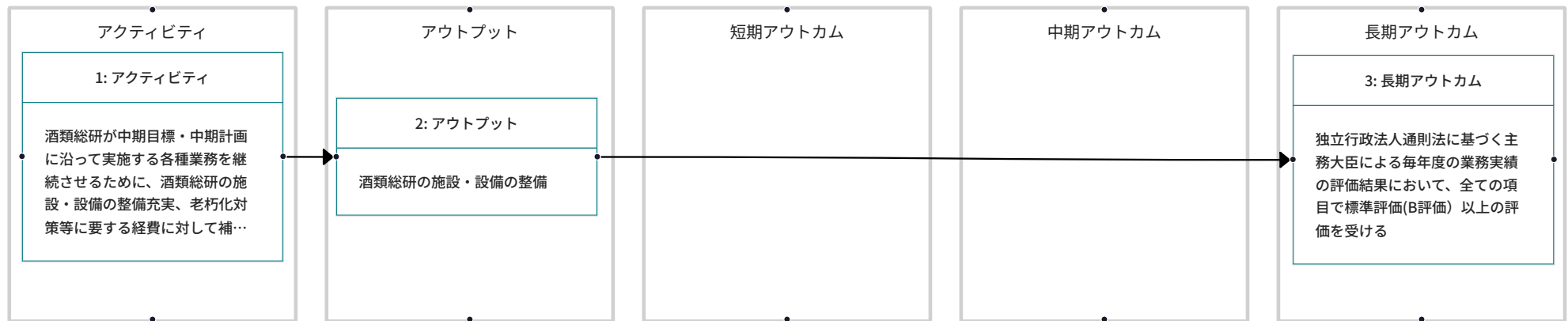
予算額執行額表 (単位：千円)		2022	2023	2024	2025	2026
	要求額	93,000	103,000	130,000	133,397	--
	当初予算	--	--	--	0	--
	補正予算	103,289	130,000	133,397	--	--
	前年度から繰越し	--	103,289	130,000	133,397	--
	予備費等	--	--	--	--	--
	計	103,289	233,289	263,397	133,397	--
	執行額	--	103,289	127,798	--	--
	執行率	--	44.3%	48.5%	--	--

予算内訳表 (単位：千円)	会計区分	会計	勘定	要望額	備考		
	一般会計	一般会計	--		--	--	
		予算種別/歳出予算項目			備考	予算額	翌年度要求額
		<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">当初予算</div> 一般会計 / 財務省 / 国税庁 / 独立行政法人酒類総合研究所施設整備費 / 独立行政法人酒類総合研究所施設整備費補助金			--	0	--
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">前年度から繰越し</div> --			--	133,397	--		

主な増減理由	--	その他特記事項	--
--------	----	---------	----

効果発現経路

活動・成果目標等のつながり



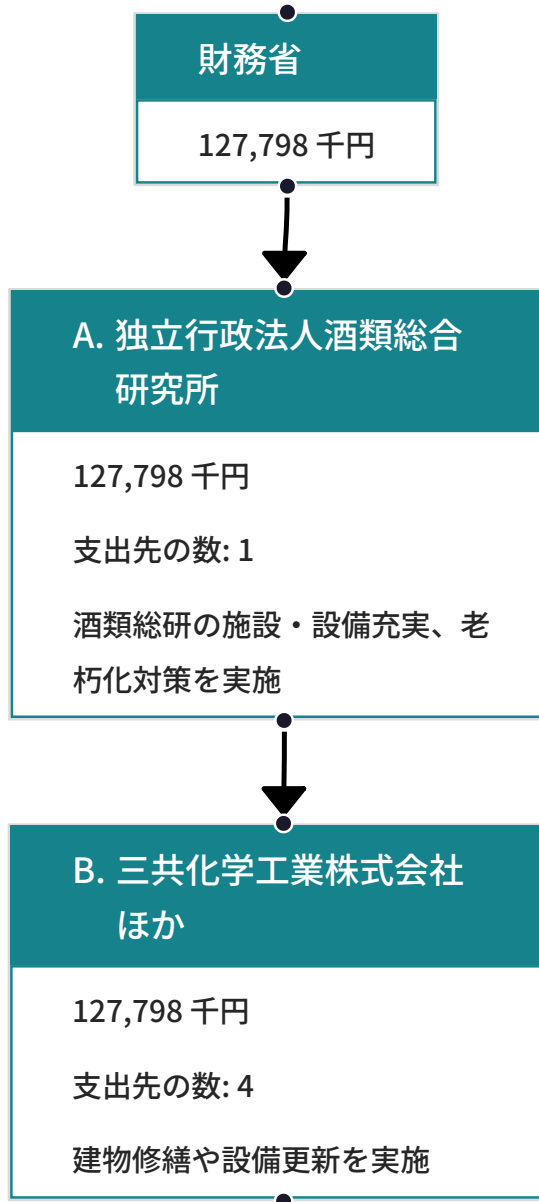
アクティビティからの発現経路 1-2-3

アクティビティ	酒類総研が中期目標・中期計画に沿って実施する各種業務を継続させるために、酒類総研の施設・設備の整備充実、老朽化対策等に要する経費に対して補助金を交付する（補助率：定額（10/10））。				
アウトプット	活動目標	酒類総研の施設・設備の整備		活動指標	施設・設備の整備件数
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--		実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	--
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--		アウトカムを複数段階で設定できない理由	--
活動・成果目標と実績		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
	当初見込み／目標値(件)	6	3	2	2
	活動実績／成果実績(件)	0	3	2	--
↓ 後続アウトカムへのつながり	酒類総研の施設・設備の整備充実、老朽化対策等は、中期目標・中期計画に沿って実施する各種業務を確実に継続させるために不可欠であり、中期目標・中期計画の達成を下支えるものであることから、業務実績の評価結果において全ての項目で標準評価(B評価)以上の評価を受けることを長期アウトカムとして設定した。				
長期アウトカム	成果目標	独立行政法人通則法に基づく主務大臣による毎年度の業務実績の評価結果において、全ての項目で標準評価(B評価)以上の評価を受ける		成果指標	標準評価（B評価）以上の評価を受けた項目の割合
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--		実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	独立行政法人酒類総合研究所の令和4年度の業務実績に関する評価書（令和5年8月28日財務省（国税庁）） 独立行政法人酒類総合研究所の令和5年度の業務実績に関する評価書（令和6年8月28日財務省（国税庁）） 独立行政法人酒類総合研究所の令和6年度の業務実績に関する評価書（令和7年●月●日財務省（国税庁））
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--		アウトカムを複数段階で設定できない理由	施設整備費補助金は、中期目標・中期計画に沿って実施する各種業務を確実に継続させるために交付されるものであり、施設整備費補助金の交付が、中期目標・中期計画の達成に直接結びつくため。
活動・成果目標と実績		2022年度	2023年度	2024年度	最終目標年度 2025年度
	当初見込み／目標値(%)	100	100	100	100
	活動実績／成果実績(%)	100	100	--	--
	達成率(%)	100	100	--	--

事業に関連する KPIが定められて いる閣議決定等	名前	--
	URL	--
	該当箇所	--

点検・評価

事業所管部局による点検・改善	点検結果	<p>酒類総研は、累次の政府方針において掲げられている日本産酒類の輸出促進のための基盤的研究、酒類の適正課税や適正表示の確保のための分析・鑑定業務等を実施しており、酒類総研が中期目標・中期計画に沿って実施する各種業務を継続させるために、酒類総研の施設・設備の整備充実、老朽化対策等を行う必要がある。</p> <p>令和6年度においては、引き続き優先順位の高い施設設備の改修に着手しており、支出先の選定に当たっては、原則一般競争入札による競争性の確保に努めており、「調達等合理化計画」に基づき、公正性・透明性を確保しつつ合理的な調達を実施している。</p> <p>上記の通り、補助金の交付対象である施設整備は適切に実施されていると考えられる。今後とも引き続き効率的な運営に努めることが重要であると考えられる。</p>		
	目標年度における効果測定に関する評価	--		
	改善の方向性	引き続き、実施すべき整備についてその必要性などを考慮して計画的に交付するとともに、入札における競争性の確保に努める。		
外部有識者による点検	点検対象	--	最終実施年度	--
	対象の理由	--		
	所見	--		
	公開プロセス結果概要	--		
行政事業レビュー推進チームの所見に至る過程及び所見	所見	--	詳細	--
所見を踏まえた改善点／概算要求における反映状況	改善点・反映状況	--		
	反映額	会計	勘定	反映額 (千円)
		--	--	--
公開プロセス・秋の年次公開検証（秋のレビュー）における取りまとめ	--			
その他の指摘事項	--			



支出先上位者リスト (単位：千円)	支出先ブロック名	合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割	
	A 独立行政法人酒類総合研究所	127,798	1	酒類総研の施設・設備充実、老朽化対策を実施	
	支出先名	支出額	法人番号		
	独立行政法人酒類総合研究所	127,798	3240005003987		
	契約概要（契約名）/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策/落札率非公開の理由
	補助金 補助金等交付	127,798	1	--	--
	支出先ブロック名	合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割	
	B 三共化学工業株式会社ほか	127,798	4	建物修繕や設備更新を実施	
	支出先名	支出額	法人番号		
	三共化学工業株式会社	79,970	7240001004036		
契約概要（契約名）/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策/落札率非公開の理由	
研究棟外壁等改修工事 国庫債務負担行為等	79,750	--	--	--	
研究棟外壁等改修工事 変更契約 随意契約（少額）	220	1	--	--	
支出先名	支出額	法人番号			
ダン環境設備株式会社	44,759	6240001006181			
契約概要（契約名）/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策/落札率非公開の理由	
製造実験棟ボイラー更新工事 一般競争契約（最低価格）	34,100	1	68.9	--	
研究棟ボイラー更新工事 一般競争契約（最低価格）	9,790	1	76.3	--	
研究棟ボイラー更新工事（金額変更） 随意契約（少額）	869	1	--	--	
支出先名	支出額	法人番号			

	株式会社大迫本社		2,145	7240001001660		
	契約概要（契約名）/契約方式等		支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
	研究所外壁用タイルの調達 国庫債務負担行為等		2,145	--	--	--
	支出先名		支出額	法人番号		
	個人 A		924	9999999999999		
	契約概要（契約名）/契約方式等		支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
研究棟外壁等改修工事 工事監理業務 国庫債務負担行為等		924	--	--	--	

費目・用途 (単位：千円)	支出先名	契約概要（契約名）	費目	用途	金額
A	独立行政法人酒類総合研究所	補助金	補助金	建物修繕及び設備更新	127,798
B	三共化学工業株式会社	研究棟外壁等改修工事	施設整備費	研究棟外壁等改修工事	79,970

国庫債務負担行為等による契約 先リスト (単位：千円)	契約先名		契約額	法人番号		
	B	寿電気工業株式会社	38,280	2240001025862		
	契約概要（契約名）/契約方式等		契約額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
	電気設備更新工事 一般競争契約（最低価格）		38,280	5	43.7	--
	契約先名		契約額	法人番号		
	B	三共化学工業株式会社	23,870	7240001004036		
	契約概要（契約名）/契約方式等		契約額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
	管理棟外壁等改修工事 一般競争契約（最低価格）		23,870	7	78.2	--
	契約先名		契約額	法人番号		
	B	個人 A	913	9999999999999		
契約概要（契約名）/契約方式等		契約額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由	
管理棟外壁等改修工事 工事監理業務 随意契約（少額）		913	2	--	--	

その他備考

(注1) 2024年度の計数等は速報値のため、今後変動する可能性がある。

論 点

<事業名>

独立行政法人酒類総合研究所運営費交付金

独立行政法人酒類総合研究所施設整備費補助金

論点 1 : アウトカムに係る各指標について、本事業の効果を検証する観点から適切なものとなっているか。

論点 2 : 日本産酒類の競争力強化等に資するものとなっているか。